

# サービス利用のしかた

65歳以上で基本チェックリストにより生活機能の低下がみられる方（事業対象者）や、要支援1・2の認定を受けた方（要支援者）は、本人の意向や心身の状態などを確認した上で、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）が適切なケアマネジメントを行うことにより、「介護予防・生活支援サービス事業」や「一般介護予防事業」のサービスを利用することができます。

住み慣れた地域で自立した生活を続けていけるよう支援していきますので、困ったな…ということがありましたら、高齢者あんしん相談センターにご相談ください。

高齢者あんしん  
相談センターに  
連絡します。

まずは、住んでいる地域を担当する高齢者あんしん相談センターに相談します。

本人や家族と話し  
合い、ケアプラン  
を作成します。

本人の心身の状況や生活歴などをお聞きし、一緒に課題を考えます。目標を決めて達成するための支援内容を本人や家族とサービス担当者で検討し、それに基づいて、ケアプランを作成します。

必要なサービス  
を利用します。

ケアプランに基づいてサービスが提供されます。利用したサービスの1割（一定以上所得者は2割）を自己負担します。

## サービスを利用するときには費用の一部を負担します

要介護状態区分に応じて上限額（支給限度額）が決められていて、その範囲内でサービスを利用する場合の利用者負担は1割（※一定以上所得者は2割）となります。ただし、上限を超えてサービスを利用した場合は、超えた分は全額利用者の負担になります。

### ■ 1か月のサービスの上限額

要介護状態区分	支給限度額
・事業対象者 ・要支援1	50,030円
・要支援2	104,730円



※一定以上所得者とは

本人の合計所得金額が160万円以上で、同一世帯の65歳以上の人で「年金収入＋その他の合計所得金額」が単身の場合は280万円以上、2人以上の場合は合計346万円以上の人